

所 発行兼編集 公民館 塩川町分館
 責任者 発行 草間 秋 男
 印刷所 印刷 藤 佐

町 勢
 世帯数 1,057戸
 人口男 1,335名
 女 1,353名
 計 2,688名
 12月1日現在

退任あいさつ

分館長 草間 秋 男

退任にあたりひとことご挨拶申し上げます。わたしは昨年から公民分館に関わって2年間、さまざまな行事を通じて区民のみなさまのご協力をいただきながら活動して参りました。この間の区民の

みなさまのご厚情に対して厚く御礼申し上げます。重ねて全面的にご支援いただいた区長はじめ区役員のみなさま、分館運営委員のみなさまに御礼申し上げます。

平成29年度塩川公民

公民分館活動を省みて

区 長 下 川 國 男

今年度も余すところ僅かとなりましたが、区民の皆様には、一年間区行政、分館活動にご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

また、八月の納涼盆踊り子供大会では、多くの老若男女が熊野神社境内に集まり、盆踊りやイベントに、楽しい夜のひと時を過ごすことができましたのではないかと思います。

さて、今年度の公民分館活動は、春の文化祭から始まり、展示の部、舞台の部に大勢の区民の皆様、各種団体の皆様に参加して頂

分館は年初の「分館事業計画」に沿って3月の文化祭、交通安全講座、健康講座、8月の盆踊りこども大会、さらに生涯学習講座、2回の人権問題学習会などを実施してまいりました。各種講座、学習会の参加者は少なめでしたが、参加されたみなさまには真剣に学んでいただきました。

「石小屋洞穴と市内縄

に、役員、各種団体の

省しています。世間では人口減少、住民減少が問題となっているなか、塩川町はまだ住民が増え続けていると聞いています。

去る9月9日、塩川町公会堂大広間において生涯学習講座「縄文時代の遺跡にみる須坂」が開催されました。

火にかけて化学変化させて固めてあり、植物や木の実等固いものを煮て柔らかくして有毒な成分を除いて安全に食べることが出来たという事です。そして土器の発明により移住型の生活から定住型生活へと変化して行ったこと等を詳しく話していただきました。

「石小屋洞穴」は宇原川上流の標高千メートル付近にある世界最古クラスの遺跡で車でも行けるところなので一度みて頂きたいとおっしゃっていました。日常あまり触れることのない古代の歴史を学ぶことができ正に温故知新でした。

公民分館活動は「出あい、ふれあい、学び」の場であると言われています。「各種講座、学習会は雰囲気的になんとなく参加しづらい」という区民の声も聞いています。主催者側としても一人でも多く区民のみなさまに参加していただくための工夫、呼びかけが充分でなかったと反省しています。

最後に公民分館の益々の発展と区民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

区といたしましては、公民分館と連携を取りながら区民の皆様が出会い、ふれあい、学びあいのできる、安心、安全な明るい町づくりを目指して取り組んでいきたいと思っております。

「生涯学習講座」開催される

公民分館主事 樋口 陸 夫

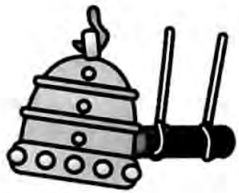
併せて市内で発掘された土器を多数展示していただき、発掘調査員の白井弓子さんの解説で土器の使用目的や特徴、年代等を学ばせていただきました。

縄文時代の須坂と生活では、「仁礼山・石小屋洞穴遺跡」から出土した微隆起線出土器について判明したことを次のように解説していただきました。土器は約1万2千年前の丸底土器で、粘土で造り

縄文時代の生活は採取と原始農耕が基本で、狩猟は矢の先に毒

を塗って狩りを行いソバ、ヒエ、アワ、キノコ、山菜などの植物や川魚を食料にし、集落を形成して生活を営んでいたことも説明していただきました。

「石小屋洞穴」は宇原川上流の標高千メートル付近にある世界最古クラスの遺跡で車でも行けるところなので一度みて頂きたいとおっしゃっていました。日常あまり触れることのない古代の歴史を学ぶことができ正に温故知新でした。



第二回人権問題学習会を終えて

人権同和担当主事 伊藤 守 夫



今年度二回目となる人権問題学習会を10月21日(土)に開催しました。当日は、来賓として須坂市生涯学習推進センター所長の坂田和巳様をはじめ、日野小学校の宮崎先生・墨坂中学校の浅沼先生・人権教育推進員の瀧澤延行様・人権交流センター指導員の山岸周一様・日野地域公民館長の神田常晴様をお迎えし、大勢の区民の皆様のご参加を得て開催す

ることができました。学習会では、まず下川区長と坂田様からご挨拶を頂きました。続いて宮崎先生から日野小学校での人権問題学習の取り組みについて、学校目標の「いっしょに、しっかりと、しなやかに」の中の「いっしょに」が人権教育で大切であり、大勢の区民の皆様による玄関での挨拶等「挨拶ができる学校」を目標にしていること。家庭・地域でも声をかけて欲しいとのお話がありました。浅沼先生からは、6月には学年毎に身近な問題を学び、11月には3学年共通で部落差別について学んでいること。生徒の感想文から「いじめている人より、いじめられている人が圧倒的に多い。見ている人が動かないといじめは無くならない。一歩踏出す勇気が大切」等、紹介がありました。次に「光射す空へ」のDVDを視聴後、山岸様から同和問題、LGBT、若年性認知症の正しい理解の大切さについて講演をいただきました。同和問題では、現在もお部落差別が存在すること。部落差別は許されないものであること。LGBTでは、性の3つの側面「からだの性・生物学的」「こころの性・性的自己認識」「好きの性・恋愛対象」。人による

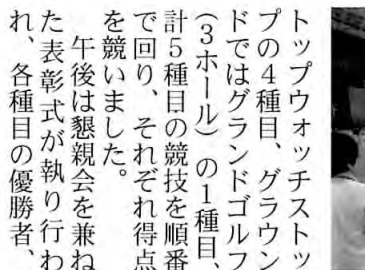
違いを理解することが大切なこと。若年性認知症では、65歳未満で発生する認知症。認知症は高齢者だけの病気では無いこと。家庭や職場、地域の理解と支援が大事なことを学びました。最後に瀧澤様から部落差別の歴史は浅く、明治政府以降の時代に作られたものであること。差別を無くすには、噂や偏見に惑わされず自分自身で正しく理解することが大切とお言葉をいただきました。問題の正面から理解し、支え合い、自分のあと一歩の勇気が差別の無い社会への入り口と感じた学習会でした。



最後に瀧澤様から部落差別の歴史は浅く、明治政府以降の時代に作られたものであること。差別を無くすには、噂や偏見に惑わされず自分自身で正しく理解することが大切とお言葉をいただきました。問題の正面から理解し、支え合い、自分のあと一歩の勇気が差別の無い社会への入り口と感じた学習会でした。



去る11月3日(金)、文化の日の午前中、日野小学校体育館・グラウンドにて「楽しく体を動かそうよ大会」が開催されました。体育館ではスマイルボウリング、ダーツ、ス



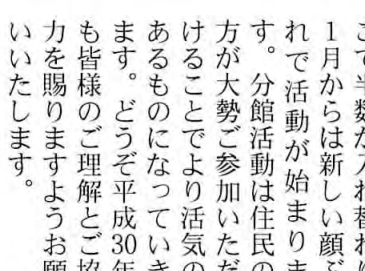
去る11月3日(金)、文化の日の午前中、日野小学校体育館・グラウンドにて「楽しく体を動かそうよ大会」が開催されました。体育館ではスマイルボウリング、ダーツ、ス



秋晴れの中、お子さ

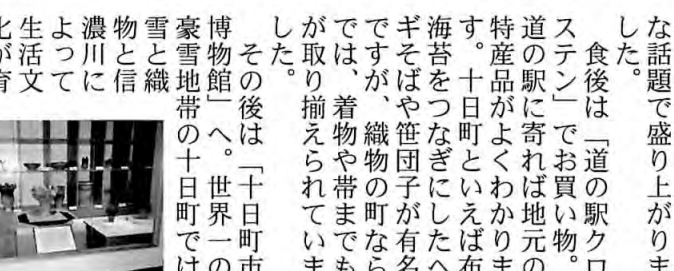
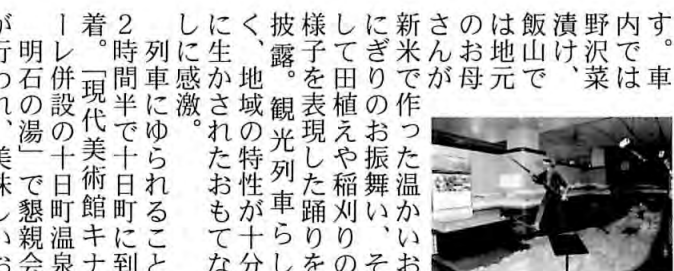
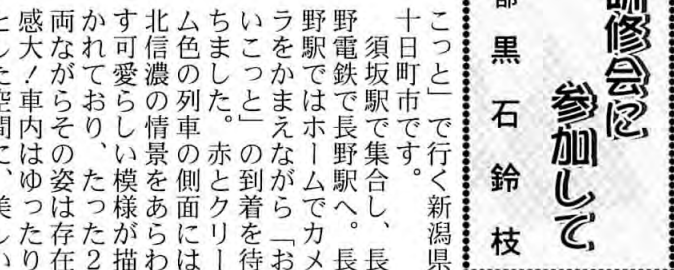


総合成績1位から3位



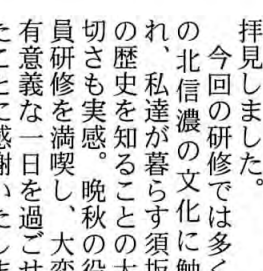
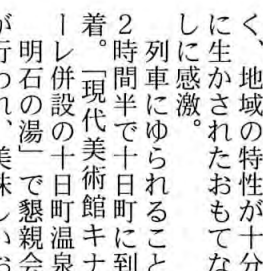
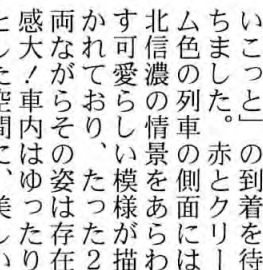
分館後記

ることができませんでした。学習会では、まず下川区長と坂田様からご挨拶を頂きました。続いて宮崎先生から日野小学校での人権問題学習の取り組みについて、学校目標の「いっしょに、しっかりと、しなやかに」の中の「いっしょに」が人権教育で大切であり、大勢の区民の皆様による玄関での挨拶等「挨拶ができる学校」を目標にしていること。家庭・地域でも声をかけて欲しいとのお話がありました。浅沼先生からは、6月には学年毎に身近な問題を学び、11月には3学年共通で部落差別について学んでいること。生徒の感想文から「いじめている人より、いじめられている人が圧倒的に多い。見ている人が動かないといじめは無くならない。一歩踏出す勇気が大切」等、紹介がありました。次に「光射す空へ」のDVDを視聴後、山岸様から同和問題、LGBT、若年性認知症の正しい理解の大切さについて講演をいただきました。同和問題では、現在もお部落差別が存在すること。部落差別は許されないものであること。LGBTでは、性の3つの側面「からだの性・生物学的」「こころの性・性的自己認識」「好きの性・恋愛対象」。人による



公民分館役員研修会に参加して

分館社会部 黒石 鈴枝



去る11月5日(日)、秋晴れの大変恵まれたお天気の中、公民分館役員研修会が行われました。今回の研修先は飯山線観光列車「おいこつと」の到着を待ちました。赤とクリーム色の列車の側面には北信濃の情景をあらわす可愛らしい模様が描かれており、たった2両ながらその姿は存在感大！車内はゆったりとした空間に、美しい紅葉を見ようと集まった乗客の笑顔が溢れました。

す。車内では、野沢菜漬、飯山で地元のお母さんが新米で作った温かいおにぎりのお振舞い、そして田植えや稲刈りの様子を表現した踊りを披露。観光列車らしく、地域の特性が十分に生かされたおもてなしに感激。列車にゆられること2時間半で十日町到着。一現代美術館キナレ併設の十日町温泉明石の湯で懇親会が行われ、美味しいお酒と地元素材を使用した料理に舌鼓し、様々な話題で盛り上がりました。食後は「道の駅クロステン」でお買い物。道の駅に寄れば地元の特産品がよくわかります。十日町といえば布海苔をつなぎにしたへぎそばや笹団子が有名ですが、織物の町ならではの、着物や帯までもが取り揃えられています。その後は「十日町市博物館」へ。世界一の豪雪地帯の十日町では雪と織物と信濃川によって生活文化が育まれてきました。今回の研修では多くの北信濃の文化に触れ、私達が暮らす須坂の歴史を知ることの大切さも実感。晩秋の役員研修を満喫し、大変有意義な一日を過ごせたことに感謝いたします。

『楽しく体を動かそうよ大会』

分館体育部長 竹田 博行

去る11月3日(金)、文化の日の午前中、日野小学校体育館・グラウンドにて「楽しく体を動かそうよ大会」が開催されました。体育館ではスマイルボウリング、ダーツ、ス

総合成績1位から3位

分館後記